指標の進捗状況

資料4

【指標の評価方法】 A:100%以上　B:99～80%　C:79～70%　D:69%以下

施策1　人生100年時代を生きる学びの推進

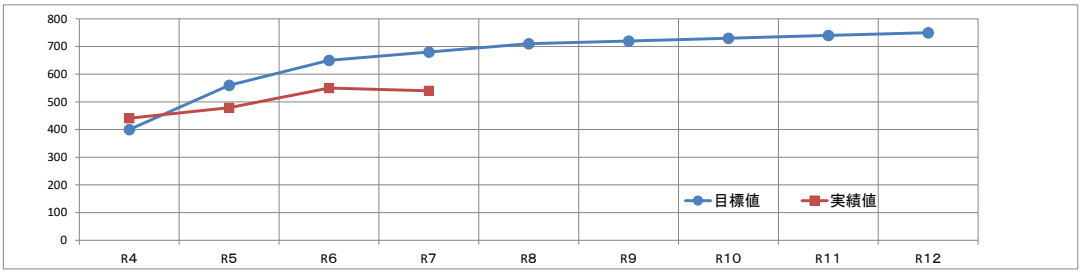
1　市町村生涯学習講座受講者数（人口千人当たり）

（生涯学習課）

※令和8年5月、R5、6年度の実績値を下方修正

（人）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	400	560	650	680	710	720	730	740	750	C
実績値	441	479	550	540						
達成率	110%	86%	85%	79%	0%	0%	0%	0%	0%	



達成状況・要因	・令和4年度から6年度までの参加者数は、前年度比で増加した。 ・令和5・6・7年度の実績は、市町村の集計方法の誤りがあったため、それぞれ下方修正を行った。 ・令和7年度の実績値は、対前年度比で約97%となり未達成。講座数を減らした市町村が複数あり、過去3年とも目標値には僅かに届かなかった。
今後の取組	・福島県生涯学習情報提供サイト（ふくしまマナビi）から、県内各地で行われる講座やイベントの情報がタイムリーに発信されるよう、市町村をはじめ登録団体等へ情報の登録を呼びかける。 ・ふくしまマナビiから講座情報等を登録・発信する方々や、サイトから情報を入手する県民の方々の利便性向上につながるシステムの改修等を行う。 ・市町村の要請等に応じて講座企画の情報提供や市町村訪問の機会を設けるなど、より県民のニーズに応じた講座が増えるよう働きかける。

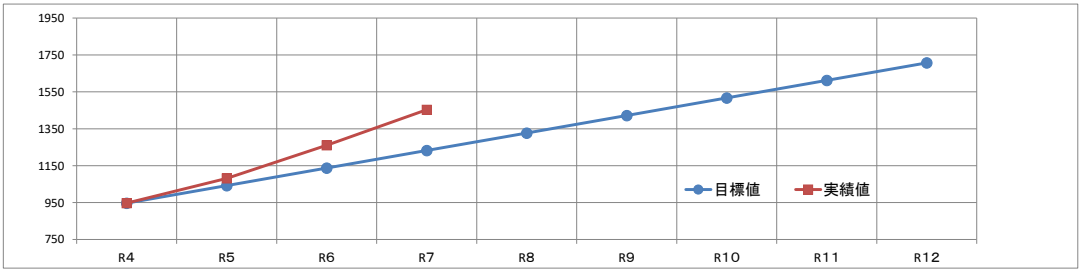
2　福島県次世代育成支援企業認証数

（雇用労政課）

※令和6年3月19日、目標値を上方修正

（件）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	947	1,042	1,137	1,232	1,327	1,422	1,517	1,612	1,707	A
実績値	947	1,081	1,260	1,453						
達成率	100%	104%	111%	118%	0%	0%	0%	0%	0%	

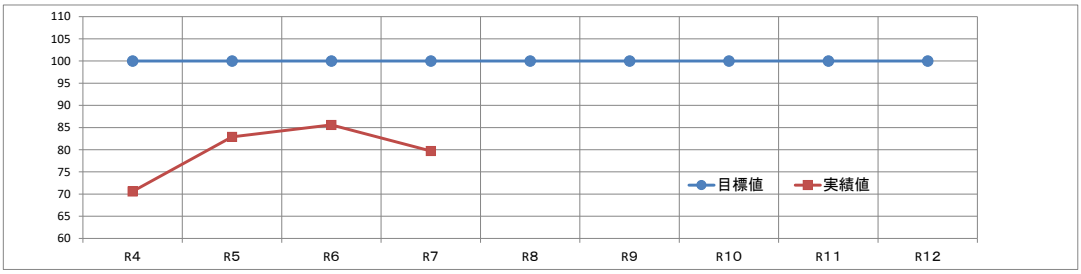


達成状況・要因	・件数が伸びている要因として、入札時の加点メリットを背景とした建設事業者の申請、さらには育児・介護休業法の改正により、男性向けの新たな育児休業制度が制定されるなど、社会全体としてワーク・ライフ・バランスの重要性の認識が高まってきていることがある。
今後の取組	・建設関係以外の業種の申請を進めるため、他業種の企業を訪問し、制度のPRを行うとともに、認証取得することで、活用できる「企業の魅力アップ奨励金」等の施策を併せてPRして認証の取得を促進する。

3　個別の教育支援計画の引継ぎ率　（特別支援教育課）

（%）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	100	100	100	100	100	100	100	100	100	C
実績値	70.6	82.9	85.6	79.7						
達成率	71%	83%	86%	80%	0%	0%	0%	0%	0%	

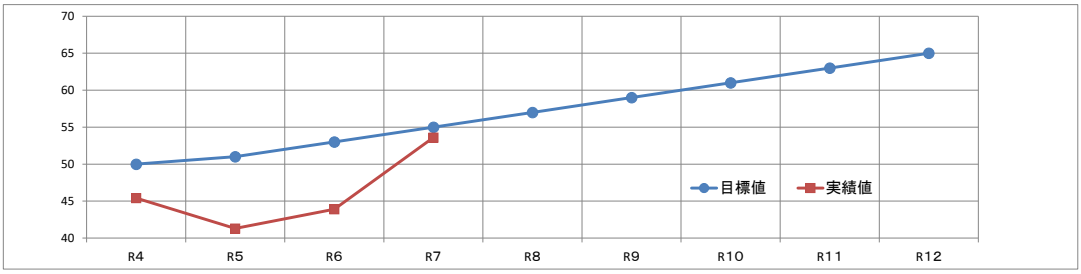


達成状況・要因	・令和4年度までは、個別の教育支援計画の作成に児童生徒本人及び保護者の同意や合意、参画が得られないケース等があった。令和5年度以降、各市町村教育委員会や各学校に対して、個別の教育支援計画の作成・活用の必要性や有効性等の具体例の周知を図り、令和6年度も引継率が向上した。 ・令和7年度は引継率が低下したが、その原因は、特別支援学級及び通級による指導の増設と、通常学級における支援が必要な児童生徒の増加に伴い、個別の教育支援計画の新規作成数が増加したためである。従来この調査は、作成済の個別の教育支援計画を引継ぎ、活用したか否かを量るものであったため、新規作成が多いほど引継率が低下していくという側面がある。次年度以降、作成数から新規分を除いた率を把握するよう調査内容を見直しながら分析を進めていく。
今後の取組	・個別の教育支援計画の作成と引き継ぎ活用のメリットを、本人と保護者に丁寧に説明することができるよう、各種研修や支援をとおして、学校や市町村教育委員会への理解啓発を図っていく。 ・計画的に、地域の関係機関と情報交換や課題の共有、改善に向けた話し合いを実施し、連携した取組を行うようにする。 ・特に課題となっている、中学校から高校への引き継ぎ活用について、義務教育課及び高校教育課と特別支援教育課が連携しながら、通知の発出等をとおして各校への周知を継続していく。

4　成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率　＊参考：（　）は、「（スポーツ庁）体力・運動能力調査」の実績値　（スポーツ課）

（%）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	50	51	53	55	57	59	61	63	65	B
実績値	45.4 （52.8）	41.3 （47.8）	43.9 （51.4）	53.6 （54.9）						
達成率	91%	81%	83%	97%	0%	0%	0%	0%	0%	



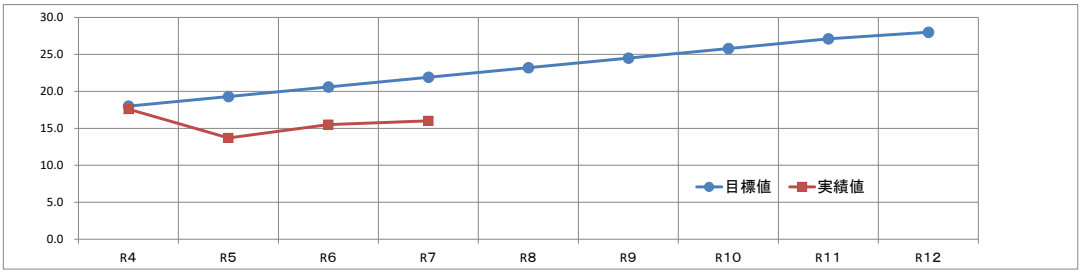
達成状況・要因	・令和7年度は、各地で多くのスポーツイベントが開催され、県においても、それぞれのライフステージに応じたスポーツ機会の提供を行った。年度目標には達しなかったものの、実施率は昨年を大きく上回った。 ・実施率が増えた要因としては、スポーツの必要性に対する意識の向上や、気象庁の「熱中症アラート」が10回と昨年度（12回）をやや下回ったこと、猛暑日（気温35℃以上）が福島市では29日と昨年度（12日）に比べ非常に多かったものの、熱中症対策が進んだことなどが考えられる。 ・一方、年度目標に届かなかった一因として、働き世代、子育て世代における仕事や家事への負担感が挙げられる。
今後の取組	・身近な地域で運動・スポーツ活動に親しむことができるよう、各地域の課題の把握と地域間の連携促進を図る会議等を開催する。 ・引き続き各関係団体と連携しスポーツイベントや体験教室等を開催するなど、様々なライフステージに応じたスポーツ機会の提供を行っていくとともに、他部局や様々な団体と連携し、イベントや会議、PR活動等をとおして、「忙しく時間がない」などの理由で運動・スポーツに費やす余暇時間が確保できない世代に対して短時間でも実施できる運動、高齢者には手軽に体を動かせる運動の働きかけを行う。

施策2　地域づくりにつながる学びの推進

5　住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していると回答した県民の割合　（意識調査）

（%）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	18.0	19.3	20.6	21.9	23.2	24.5	25.8	27.1	28.0	C
実績値	17.6 県政世論調査	13.7 県政世論調査	15.5 県政世論調査	16.0 県政世論調査						
達成率	98%	71%	75%	73%	0%	0%	0%	0%	0%	

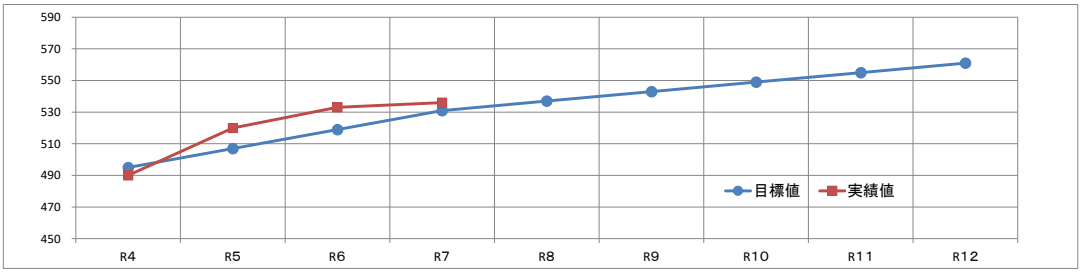


達成状況・要因	・R7年度は、R6年度調査よりも実績値が若干伸びたが、人口減少、少子高齢化等により、地域活動の担い手不足が顕著であり、依然として地域活動への参加率は目標値よりも低い水準で推移している。 ・地域活動への参加が進まない要因として、子育てや家事、仕事等で時間の確保が難しいといった理由が挙げられる。一方、地域活動への参加のきっかけとしては、友人や地域の方の誘い、自分がやりたい活動だった、時間的な余裕ができたといった動機が働いている。
今後の取組	・県及び各市町村の生涯学習情報サイトや広報紙などをとおして、自分がやりたい活動が見つけられるよう、ボランティアや地域活動等の生涯学習情報を積極的に発信していく。 ・社会教育担当者を対象とした研修会等の機会をとおして、地域の人材養成や世代間交流等を目的とした講座の企画や運営の支援をしていく。 ・今後、地域住民の生涯学習推進の拠点施設等において、地域住民が地域活動に対する当事者意識を持つことができるよう、積極的に地域活動の情報提供に努める。

6　NPOやボランティアと県内自治体等との協働事業件数　（文化振興課）

（件）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	495	507	519	531	537	543	549	555	561	A
実績値	490	520	533	536						
達成率	99%	103%	103%	101%	0%	0%	0%	0%	0%	

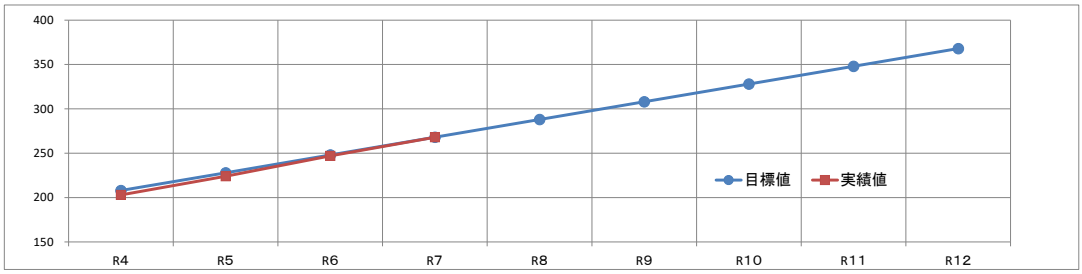


達成状況・要因	・令和7年度は補助等、件数が減少した取組もあるが、事業協力（行政とNPO等が役割を分担して、特定の事業又は活動をともに行うもの（共催・委託事業以外））の件数が特に増加するなど、全体的な取組件数は令和6年度から増加した。
今後の取組	・NPOと企業等の協働を促進するため、引き続き、NPOと企業等との協働事業の成功事例の広報啓発や、マッチングの支援（NPOや企業へのヒアリング、情報提供、マッチングの機会提供、事業実現に向けた助言等）に取り組んでいく。

7　ふるさとの祭り参加民俗芸能団体数（累計）　　（文化振興課）

（件）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	208	228	248	268	288	308	328	348	368	A
実績値	203	224	247	268						
達成率	98%	98%	99%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	



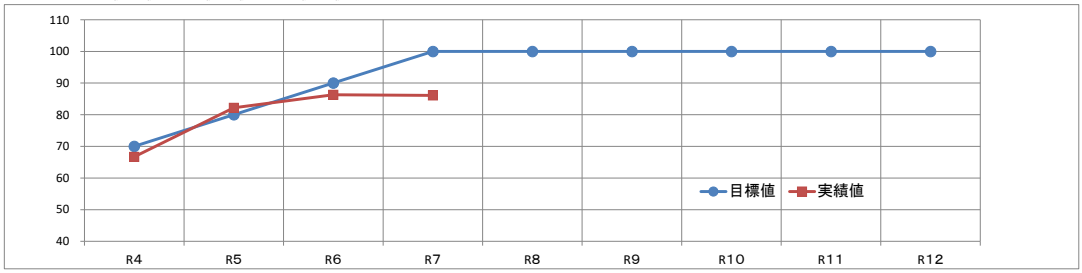
達成状況・要因	・「ふるさとの祭り」には本体公演と出張公演があり、今年度は本体公演に18団体、出張公演に3団体、合計21団体が参加し、多くの観客の前で民俗芸能を披露いただいた。これにより、今年度までの累計参加団体数は268団体となり、目標を達成した。
今後の取組	・引き続き、県内各地で開催される各種イベントにおいて、民俗芸能をより多くの県民に知ってもらう機会、芸能を披露する機会を確保する観点から、「ふくしまの祭り」として参加できるよう調整を進めていく。 ・担い手の確保のため、地域の移住者、定住者や県内外の大学生などが、民俗芸能団体との連携や活動の協力をしていく関係づくりに取り組んでいく。

施策3　東日本大震災及び原子力災害の記憶と教訓の伝承

8　語り部や風評払拭、風化防止に関連する探究活動を実施した県内県立高校の割合　（高校教育課）

（%）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	70	80	90	100	100	100	100	100	100	B
実績値	66.7	82.2	86.3	86.1						
達成率	95%	103%	96%	86%	0%	0%	0%	0%	0%	
	52校/78校	60校/73校	63校/73校							



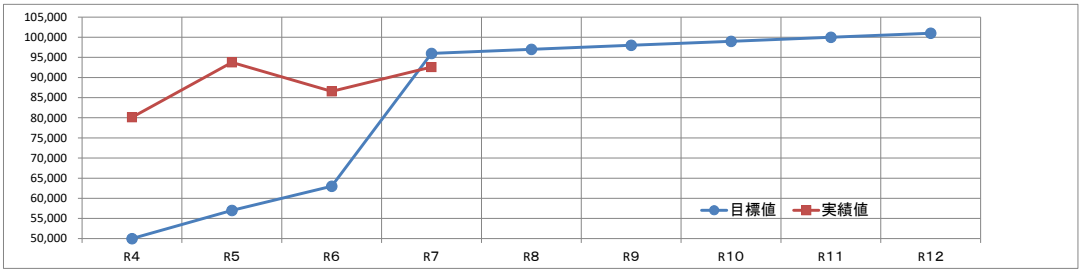
達成状況・要因	・各校における、地域課題探究学習の定着・拡充に伴い、多様なテーマによる地域課題探究活動が実践されており、震災に係る学習もその一環として行われるようになっている。 ・高校生語り部事業が周知され、事業の活用に積極的な学校も多いが、各学校における事業の継承や実践校数の伸び悩みが課題。
今後の取組	・従来から語り部事業に応募している学校が、今後も活動を継続できるよう関連する施策をとおして支援していく。 ・実践校への応募を促すために、学校間での震災・復興に関わる探究活動の情報交換の機会を充実させるとともに、活動内容の幅広い情報発信を推進していく。

９　東日本大震災・原子力災害伝承館　　（生涯学習課）

(1)来館者数

※令和7年2月6日、目標値を上方修正　　（人）

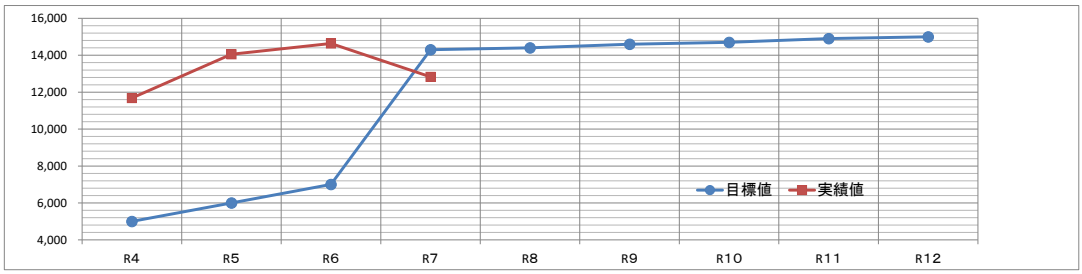
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	50,000	57,000	63,000	96,000	97,000	98,000	99,000	100,000	101,000	B
実績値	80,119	93,759	86,551	92,601						
達成率	160%	164%	137%	96%	0%	0%	0%	0%	0%	



(2)研修参加者数

※令和7年2月6日、目標値を上方修正　　（人）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	5,000	6,000	7,000	14,300	14,400	14,600	14,700	14,900	15,000	B
実績値	11,684	14,050	14,638	12,832						
達成率	234%	234%	209%	90%	0%	0%	0%	0%	0%	



達成状況・要因	・令和7年度の来館者数（有料エリア）については、カムチャツカ半島沖地震に伴う津波注意報・津波警報の発令や震災15年目で注目が高まったこともあり、92,601人(うち外国人5,025人)であった。 ・目標の96,000人には届かなかったものの、令和6年度から6,050人増加し、開館以来2番目の来館者数となった。 ※令和7年8月24日に累計来館者40万人に到達、令和8年8月12日に50万人に到達した。 ・一方で、研修参加者は前年度参加した企業がリピートで研修を実施するケースが少ないこともあり、令和6年度から1,806人減少した。
今後の取組	・伝承館主要事業（収集・保存、調査・研究、展示、研修）について、これまでの取組を継続し、東日本大震災に関する「知の拠点」としての伝承館の魅力を向上させ、更なる誘客に繋げていく。 ・さらに、デジタルアーカイブの一般公開や調査・研究部門におけるF-REIとの連携、博物館登録を契機とした県外出張展示等の充実、福島県復興祈念公園と連携した新たな研修プログラムの策定・展開などに取り組む。

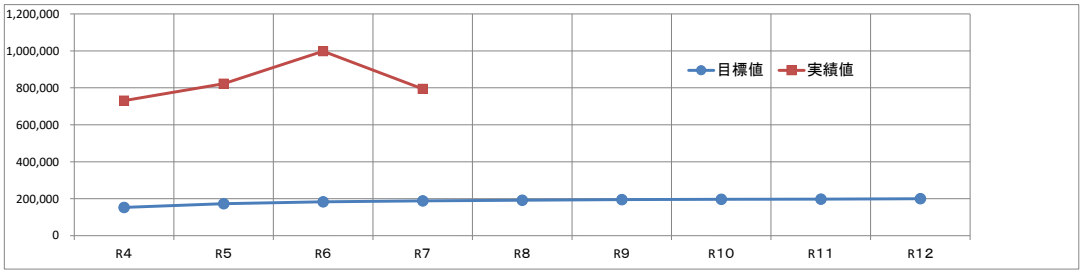
施策４　社会の変化に対応した学びやすい環境づくりの推進

１０　県民カレッジ受講者数

（生涯学習課）

（人）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	153,000	173,000	183,000	188,000	192,000	195,000	197,000	198,000	200,000	A
実績値	730,750	822,578	998,086	794,165						
達成率	478%	475%	545%	422%	0%	0%	0%	0%	0%	



達成状況・要因	・令和７年度は、令和６年度比で約80%（203,921人の減）となった。減少分は、ほぼ県主催の県民カレッジ受講者数である。 ・令和７年度に開催された県主催の県民カレッジ講座・イベント数が、令和６年度比で１７%減少していることが要因の１つと考えられる。
今後の取組	・庁内関係部局課との連携を密にしながら、生涯学習関連事業（講座・イベント）の掘り起こしを行い、幅広い内容の講座やイベント、講師等の情報や生涯学習動画など、生涯学習に関する情報等の登録数を増やし、コンテンツを充実させ、受講者数の増を図る。 ・市町村主催県民カレッジ講座（イベント）についても、市町村公民館職員研修会等の機会を捉え、ふくしまマナビiへの情報掲載の有効性を訴え、積極的な情報登録につなげる。

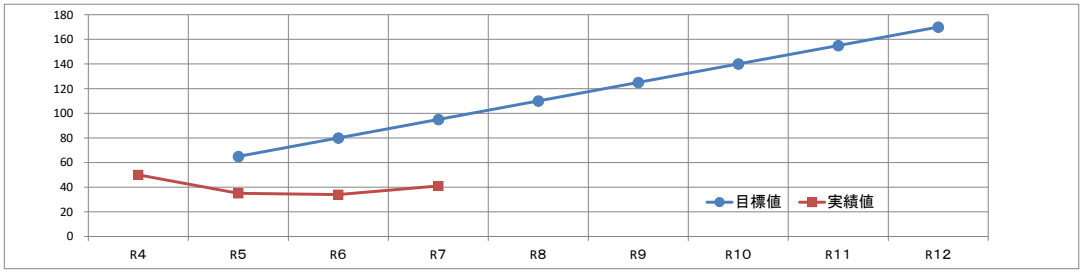
１１　オンラインを活用した生涯学習講座数

※令和４年２月９日、目標値を設定

（生涯学習課）

（件）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値		65	80	95	110	125	140	155	170	D
実績値	50	35	34	41						
達成率		54%	43%	43%	0%	0%	0%	0%	0%	

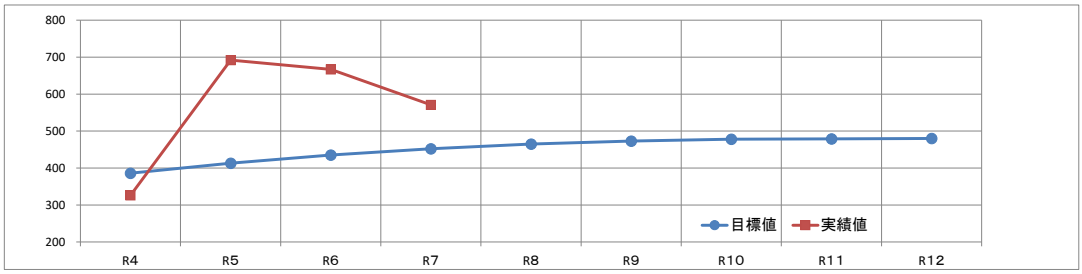


達成状況・要因	・R5・6に引き続き、R7年度も、Zoomなどを活用したオンライン配信による講座数が年度目標値を下回った。各市町村においては、生涯学習振興計画等でオンライン講座に重点を置いているが、対面開催に比べて参加者が少ないといった現状が見られる。 ・主催者、参加者ともに、ICTスキルや受信環境といった、人的・物的に解決すべき課題が残っている。また、主催する側には、学びを通して地域の繋がりを育てていきたいという目的があり、学ぶ側には、リアルでの交流を目的としている方が多いことが挙げられる。
今後の取組	・交通手段がない、経済的困窮、身体的課題、時間的な余裕がない等、学びへの課題を抱えている方々に対して、学びを提供することができるよう、録画配信やハイブリッドでの開催等を、県として推奨していく。 ・他市町村の先行事例等について、ふくしまマナビiや県のHP、広報紙等を通した紹介、市町村の支援要請に応じた訪問活動などにより周知し、オンライン活用を促進する。 ・ふくしまマナビiを活用し、市町村及び県の施設等が作成した動画配信を供与する。 ・県のデジタルデバイド解消事業の活用により、地域のデジタルサポーターを育成し、デジタル端末のスキルが身につく講座の開設につなげる。

12　学んだことをいかす機会が講座内に組み込まれている市町村生涯学習講座数　　（生涯学習課）

（件）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	386	413	435	452	465	473	478	479	480	A
実績値	326	692	667	571						
達成率	84%	168%	153%	126%	0%	0%	0%	0%	0%	



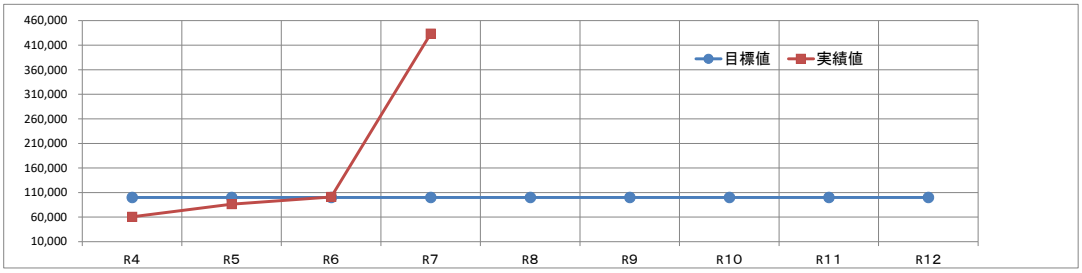
達成状況・要因	・令和5年度は、5月に新型コロナによる行動制限が解除され、県内各地で発表機会が増えるなど、学んだことを活かせる機会も一気に伸びた。 ・令和6・7年度は、それぞれ前年度に比べて減少したが、目標値を大きく上回っている。 ・減少の要因としては、講座数を減らす市町村が複数あったため、学んだことをいかす機会が講座内に組み込まれている講座も減少した。
今後の取組	・市町村生涯学習担当者を対象とした研修会で、他市町村の参考となる取組を紹介し合うなど、成果発表・活用の場をゴールに位置づけた講座を企画するよう働きかけを行う。 ・市町村の要請等に応じて講座企画の情報提供や市町村訪問の機会を設けるなど、より県民のニーズに応じた講座が増えるよう働きかける。 ・県内の優良事例を取り上げたニューズレターを発行し、学んだことをいかす取組を紹介していく。

13 県立美術館　　（社会教育課）

（1）入館者数

（人）

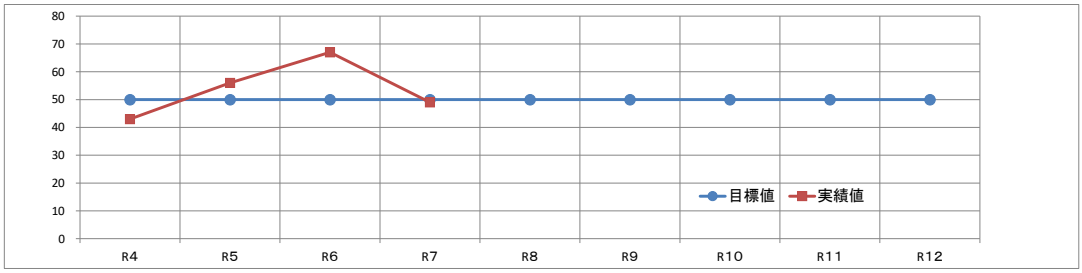
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	A
実績値	60,612	86,338	100,968	433,307						
達成率	61%	86%	101%	433%	0%	0%	0%	0%	0%	



（2）講座数

（件）

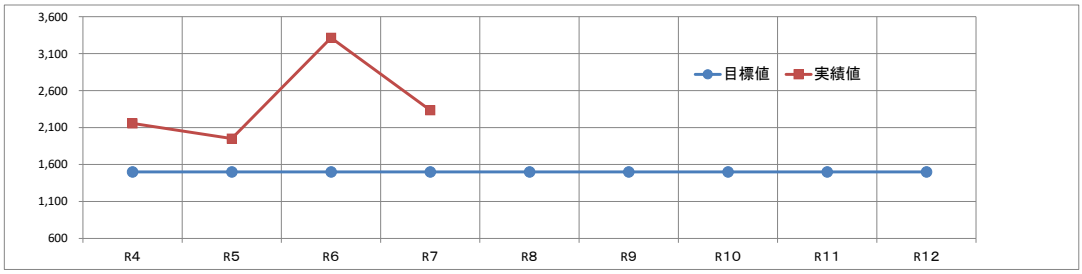
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	50	50	50	50	50	50	50	50	50	B
実績値	43	56	67	49						
達成率	86%	112%	134%	98%	0%	0%	0%	0%	0%	



（3）受講者数

（人）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	A
実績値	2,157	1,951	3,314	2,334						
達成率	144%	130%	221%	156%	0%	0%	0%	0%	0%	



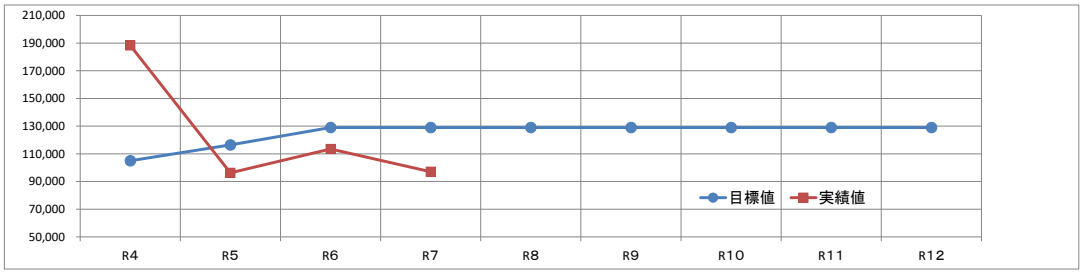
達成状況・要因	【入館者数】 ・令和7年度は、実行委員会形式による大型展「金曜ロードショーとジブリ展」及び「大ゴッホ展」を開催したほか、新版画展や竹久夢二展、福島県出身・ゆかりの若手作家を紹介する「福島アートアニュアル」といった、幅広いジャンルの魅力ある企画展や関連イベントの開催等により、入館者数が433,307人となり、10万人という目標を達成したところである。 ・広報のあり方も、幅広い世代に即時効果的に発信するため、SNS等を活用した情報発信を行っている。 【講座数及び受講者数】 ・令和7年度も前年度に引き続き、自由参加型の講座数増や常設展示のギャラリートーク開催等により、講座数は目標にわずかに及ばなかったものの、受講者数は年度目標値を大きく上回った。
今後の取組	・県民等のニーズに即した大型企画展や自主企画展をバランスよく開催する。 ・様々な手段で企画展の内容があらゆる年齢層に伝わるように広報する。 ・団体の入館者数は上昇傾向にあるが、さらに増となる取り組みが必要である。 ・継続的に来館者の多様なニーズに対応できる様々な種類の講座の開催が必要である。

14　県立博物館　　（社会教育課）

（1）入館者数

（人）

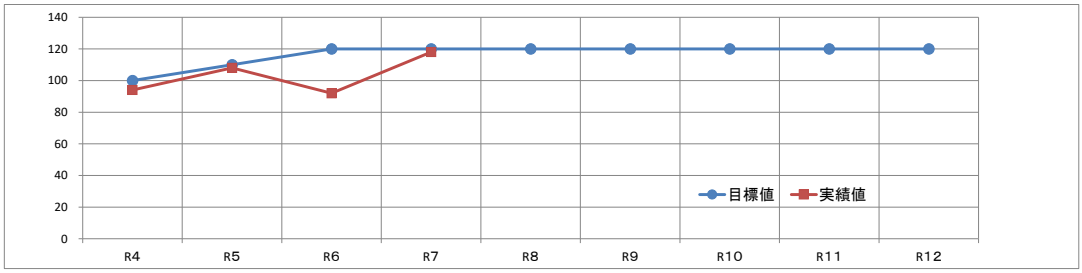
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	105,000	116,500	129,000	129,000	129,000	129,000	129,000	129,000	129,000	C
実績値	188,323	96,274	113,516	97,021						
達成率	179%	83%	88%	75%	0%	0%	0%	0%	0%	



（2）講座数

（件）

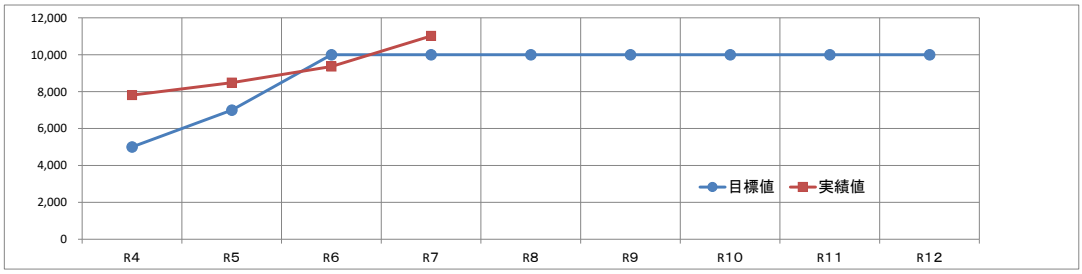
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	100	110	120	120	120	120	120	120	120	B
実績値	94	108	92	118						
達成率	94%	98%	77%	98%	0%	0%	0%	0%	0%	



（3）受講者数

（人）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	5,000	7,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	A
実績値	7,810	8,485	9,357	11,016						
達成率	156%	121%	94%	110%	0%	0%	0%	0%	0%	

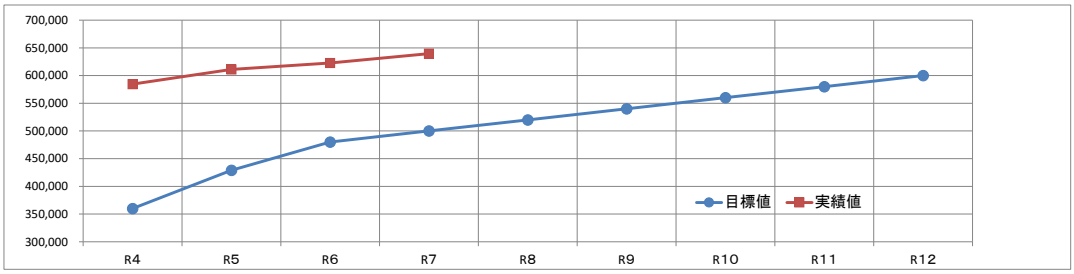


達成状況・要因	・常設展及び企画展等の来館者数について、令和6年度は施設改修等による閉館期間があったが、7年度は通年開館したことにより、前年比1.2倍となった。 ・令和5年度から鶴ヶ城など周辺の観光施設との周遊を促進することを目的として導入した、三施設共通観覧券（当館常設展、鶴ヶ城天守閣、茶室麟閣）について企画展の割引料金を設定したこともあり、令和5年度比で入館者数は2倍強に増加した。 ・一方、博物館事業については、令和6年度は閉館期間もあったことから、館外アウトリーチ事業に力を入れていたが、令和7年度は全期間開館したことにより館外アウトリーチ事業を縮小したことに伴い、入館者数は減少している。
今後の取組	・開館から約40年となる施設の老朽化のため、文化財の保全・展示の環境不備や来館者の利便性が低いという現状があり、計画的な改修による環境の維持・改善が急務となっている。 ・収蔵庫の逼迫が大きな課題となっており、資料の劣化・消滅や、県外・国外への貴重な資料の流出など、福島県の文化資源を未来に継承することができなくなることが危惧されている。 ・企画展や各種イベントなど、年間を通した様々な事業活動について、戦略的な広報活動を充実させることが課題となっている。

15　アクアマリンふくしま　　（生涯学習課）

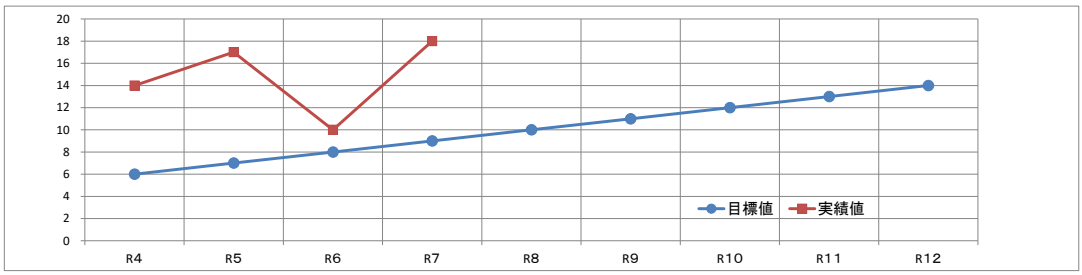
（1）入館者数　　（人）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	360,000	429,000	480,000	500,000	520,000	540,000	560,000	580,000	600,000	A
実績値	584,564	611,040	622,746	639,571						
達成率	162%	142%	130%	128%	0%	0%	0%	0%	0%	



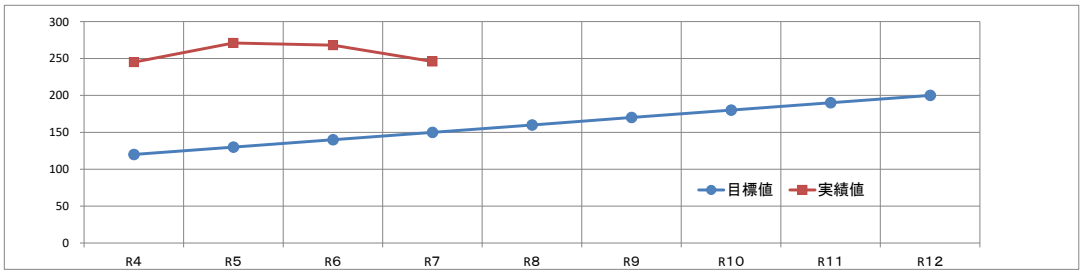
（2）講座数　　（件）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	6	7	8	9	10	11	12	13	14	A
実績値	14	17	10	18						
達成率	233%	243%	125%	200%	0%	0%	0%	0%	0%	



（3）受講者数　　（人）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	120	130	140	150	160	170	180	190	200	A
実績値	245	271	268	246						
達成率	204%	208%	191%	164%	0%	0%	0%	0%	0%	

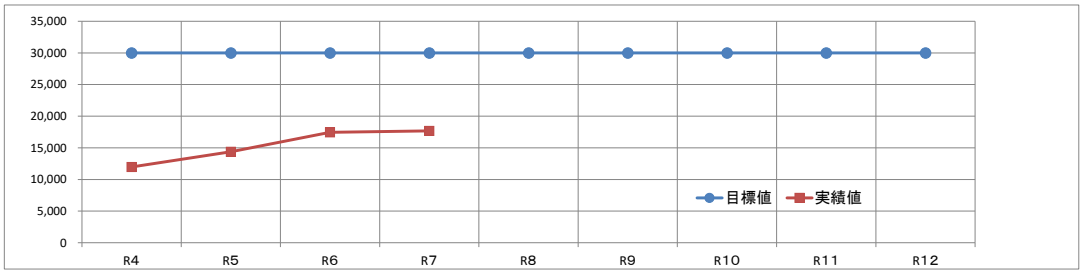


達成状況・要因	・R7年度の入館者数は、施設のリニューアル、魅力的な企画展の開催、積極的な情報発信により伸び、目標を達成した。 ・スクール開催事業は、川や海など野外でのプログラムや館内宿泊を伴うプログラムを実施するなど、内容をより魅力的なものとしたことで、受講者数は目標を達成した。
今後の取組	・リニューアルオープンした「わくわく・はじまりの森」、「アクアマリンえっぐ」を活用するプログラムの充実を図り、引き続き、施設の魅力を向上させていく。 ・魅力ある企画開催事業を展開し、近隣施設と連携した情報発信を行っていく。 ・スクール開催事業は、実施結果を踏まえ、より魅力的なものとなるようブラッシュアップしていく。 ・博物館法上の博物館として、学術的取組を始め、地域の観光・交流拠点としての役割を果たしていく。

16　県文化財センター白河館　　（文化財課）

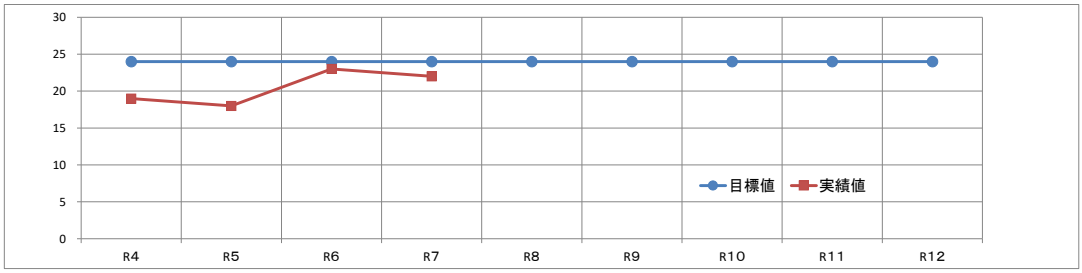
（1）入館者数　　（人）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	D
実績値	11,976	14,383	17,442	17,679						
達成率	40%	48%	58%	59%	0%	0%	0%	0%	0%	



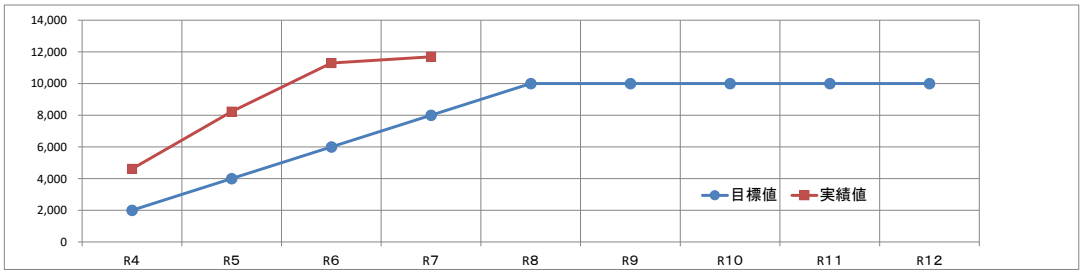
（2）講座数　　（件）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	24	24	24	24	24	24	24	24	24	B
実績値	19	18	23	22						
達成率	79%	75%	96%	92%	0%	0%	0%	0%	0%	



（3）体験者数　　（人）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	2,000	4,000	6,000	8,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	A
実績値	4,613	8,224	11,294	11,688						
達成率	231%	206%	188%	146%	0%	0%	0%	0%	0%	



達成状況・要因	・白河館の入館者数は、新型コロナウイルスが蔓延した令和2年度には前年度比△12,430人の11,249人であった。令和5年度以降は増加傾向に転じているものの、未だコロナ禍前の水準には戻っていない。入館者数に占める学校等団体利用の割合は、令和元年度で29%であったが、令和7年度には13%となっており、団体利用の減少が続いている。 ・バス代補助の減少、教育カリキュラムの変更等により、コロナ禍前まで主要利用者だった学校の学習活動としての児童生徒の団体利用の増加が難しい中、「U－15の考古学　発掘調査で何がわかる？」展、「ふくしまの縄文・弥生時代―只見川流域の遺跡―」展等の幅広い年齢層に向けた魅力的な企画の実施により、令和7年度の入館者数は17,679人と前年度比で微増とすることができた。
今後の取組	・指定管理者と連携し、県文化財センター白河館の強みを生かした魅力ある展示の企画、館長講演会など広域かつ幅広い年齢層の文化財への理解の増進に努めるとともに、ファミリー層に訴求するイベント開催、重点的な広報により入館者数の増を目指す。 ・指定管理者である福島県文化振興財団には、企画力及び広報力向上のために文化庁主催のセミナーや研修を受けるよう促すとともに、常設展示室の一部を企画展と連動して活用するなどの助言を進めていく。